

平成24年10月12日

各 位

株式会社 紀陽ホールディングス

株式会社 紀陽銀行

「CSRレポート2012」発刊のお知らせ

紀陽フィナンシャルグループでは、日頃より地域に密着した活動を通じて、社会への貢献活動（CSR活動）を行っております。この度、当グループのCSR活動をより多くの方にご理解いただくために、「CSRレポート2012」を発刊いたしましたのでお知らせいたします。

当グループでは、地域の皆さまとの関わりを大切にしており、地域金融機関としてどのような社会的責任を果たしていくかを考え、ひとつひとつの課題に取り組んでおります。

1. 本誌の内容

当グループのCSR活動の内容をお客さま、地域社会、株主さま、従業員の4つのカテゴリーに分けて紹介しております。また、今回は特集として「企業の森」活動を取り上げているほか、営業店での独自の取り組み等も紹介しております。

2. 発刊日

平成24年10月12日（金曜日）

3. その他

本誌は、紀陽銀行の各営業店に備置しております。

以 上



特集

地域の豊かな天然資源を
次世代の子どもたちに残したい。

企業の森事業 「紀陽の森」

わが街 わが店 わが取り組み
支店活動レポート

会社概要

株式会社 紀陽ホールディングス

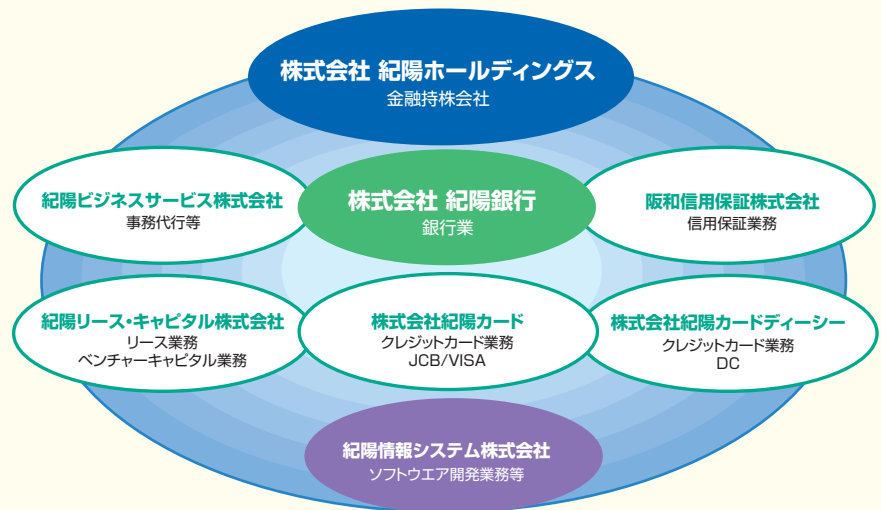
設 立 日 平成18年2月1日
 所 在 地 和歌山市本町1丁目35番地
 資 本 金 583億50百万円
 事 業 の 内 容 銀行等子会社の経営管理、
 ならびにそれらに附帯する業務
 上場証券取引所 東証第一部

株式会社 紀陽銀行

設 立 日 明治28年5月2日
 所 在 地 和歌山市本町1丁目35番地
 資 本 金 800億96百万円
 店 舗 数 107店（和歌山県68カ店（インターネット
 支店を含む）、大阪府36カ店、奈良
 県2カ店、東京都1カ店）
 従 業 員 数 2,310名（出向者を除く）

※平成24年9月30日現在

紀陽フィナンシャルグループ



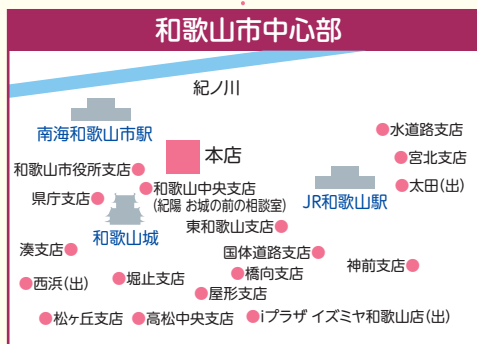
※平成24年9月30日現在

営業エリア/紀陽銀行店舗ネットワーク

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	118
大阪府	36	43
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	107	163

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インスタブランチ「プラザ イズミヤ和歌山店」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9カ所)、ビジネスサポートセンター(本店)内)を開設しております。



(出): 出張所

東京支店

※平成24年9月30日現在

紀陽フィナンシャルグループの取り組み

地域金融機関として地域社会やそこに住む人々に、もっと貢献したい。それは普通の業務の中で提供できるものはもちろん、通常の業務以外でも、きっとたくさんあるはずだと、私たち紀陽フィナンシャルグループは考えています。

当社グループでは「お客さま」「地域社会」「株主さま」「従業員」に対して様々な活動を行っています。

地域の人々と関わり、地域の環境を豊かにするために地域金融機関としてどのような社会的責任を果たしていくかを定め、ひとつひとつの課題に取り組んでいます。

CSR活動の方針	取り組み課題	2012年の各種取り組み施策
 お客さま P7~10 お客さまにやさしいサービスを提供する	ご相談窓口の拡充	お城の前の相談室／ハートフルプラザ／年金相談会、資産運用セミナーの実施／資産運用アドバイザーの配置 など
	役立つ情報の発信	ハローサービスセンター／紀陽ビジネスクラブ など
	地域ビジネスのサポート	公的支援活用の推進／海外進出支援／人材確保支援／事業承継支援／経営相談／販路拡大支援／産学連携の推進 など
	お客さま満足の向上	〈キヨー〉ふれあい倶楽部／インターネット投資信託／CS向上施策／バリアフリー化への取り組み など
	安心できるお取引きの推進	紀陽ONE da FULL カード／振り込め詐欺防止 など
 地域社会 P11~16 地域社会の持続的発展をお手伝いする	地域密着型金融の推進	公的支援活用の推進や海外進出支援、経営相談など、地域企業に特化したサポート体制により、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。
	文化や芸術活動への貢献	紀陽コンサートの開催、美術館・博物館への無料招待(紀陽文化財団) など
	金融教育の実施	高専・大学での講義／インターンシップの受け入れ／職場見学の受け入れ など
	環境保全への取り組み	企業の森事業／環境保全業界団体への参画／環境に配慮した営業(店舗設計・エコ販促品の利用)／ESCO事業の推進／環境関連金融商品の取扱い など
	地域貢献活動の推進	就職機会の創出／「大人大学」の開講／スポーツを通じたCSR活動／各種大会への協賛・地域行事への参加／「小さな親切」運動／AEDの設置 など
 株主さま P17 株主さまに信頼される経営を実行する	経営における透明性の確保	web、冊子等での情報開示の充実／各種IR説明会の実施 など
	堅実な経営の継続	安定配当の実施 など
	経営態勢の整備	コンプライアンスの遵守 など
 従業員 P18 従業員が働きやすい環境を整備する	人材育成の強化	新入行員研修／階層別研修／職務別研修／OJTの取り組み強化／自己啓発サポート など
	モチベーション向上施策の実施	信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入 など
	働きやすい職場づくり	配偶者出産休暇制度／半日休暇制度／メンタルヘルスケア体制の強化／セクシャルハラスメントの排除 など

活動レポート

2012.06.02

出発



天気は朝からあいにくの曇り空。しかし参加者は元気いっぱい。それぞれ南海岸和田駅、JR日根野駅、JR和歌山駅、御坊市役所前の4か所に分かれてバスに乗りこみいよいよ出発です。

現地到着



途中、休憩を挟みながらバスは集合場所に到着。少し歩いたところにある入り口には「紀陽の森」と記された看板が。参加者の雰囲気もいっそう高まってきたのでした。

開会式



紀陽銀行 成田常務のあいさつ
参加者154名と数多くの参加者に対する感謝の気持ちと「今後も10年20年と続けていきたい」と熱く語る成田常務。

地域の豊かな天然資源を
次世代の子どもたちに残したい。

企業の森事業 「紀陽の森」



**「木の国・和歌山」の財産である森を育み、
自然環境を守ることが
地域を豊かにすると考えています。**

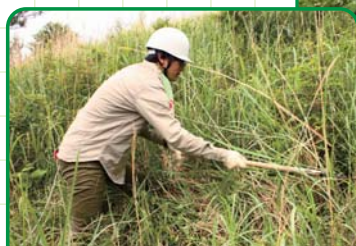
信仰の聖地として、修行の場として、湯治の里として。いにしえより代々受け継がれてきた和歌山の森林。その財産を守り育て、ひいては地球環境の保全にもつなげたい。そんな思いから平成18年、紀陽銀行及び紀陽銀行従業員組合は、和歌山県が主体となり県内企業を中心に森林環境保全への取り組みを募る事業「企業の森事業」に参画。日高川町愛川^{あたいがわ}で「紀陽の森」をスタートいたしました。同年4月15日の植樹祭ではヤマザクラやコナラ、ヤマモミジ、ミズメといった多様な種類の苗木およそ900本が、参加した社員やその家族の方々およそ100人の手によって植えられました。これを皮切りに、紀陽フィナンシャルグループでは約3,300本の植樹を行い、その後も毎年、下草刈りをはじめとした育林活動や森林環境保全の取り組みを継続。

そもそも、この企業の森事業への参画は、紀陽銀行創立110周年事業の一環として企画・実施されたものでした。それから6年のもの間、こうした環境保全活動を続けていくことができたのは、ひとえに森林・自然環境という地域の財産を次世代に残していく役割を地域の金融機関として担ってきたいという、行員一人ひとりの強い思いと、地域を愛する熱意があってこそその結果であると考えています。



下草刈り

作業スタート



おっ!すこし慣れてきて作業する姿も
ずいぶんさまになってきましたね。



実際の作業現場はかなりの急斜面。
気を引き締めて下草刈りのスタート
です。足を滑らさないようじゅうぶん
気をつけて!



まだ小さい苗木。周囲の草を刈ることで太陽
がじゅうぶん当たるようにします。落ちてしまっ
ていた目印のリボンも結び直しておきました。



下草刈り作業は6班にわかれて実
施。さあみんな張り切っていきま
しょう!

作業終了



みなさん、おつかれさまでした～。
作業の後の冷たいお茶がおいしいね!



最後は参加したみんなで記念写真。
充実感たっぷり笑顔が素敵ですね。



美山村森林組合・玉置参事による
カマの使い方と注意事項
「刈り始めるまでカバーは外さない」
「地面と平行に斜面の上を刈る」など、
作業にあたっての注意事項を実演をま
じえてお教えいただきました。



Voice of Kiyo Friends

～「紀陽の森」下草刈りボランティア活動を終えて～

参加者 インタビュー



地域企業の一員として、これからもこうした貢献活動には積極的に参加したいと思います。

和中 正典さん（地域振興部）

個人ではなかなかこういう地域ボランティア活動はできないのでいい機会になったと思います。中期経営計画でも「CSR（企業の社会的責任）」を重視していますし、県内の上場企業のひとつとして、このような社会貢献活動は積極的に参加していきたいですね。

楽しかった！
また参加
したいです！



今回は親子での参加。社会貢献活動をしている姿を子どもに見せることができてよかったです。

福元 秀峰さん（堀止支店）・陽誠くん

初めて参加しました。やってみて感じたことは、ふだんスーツを着て仕事しながら会話するのと、こういうかたちで接するのとでは違う距離感が生まれて、とてもいい機会でした。日頃から支店では、地域に愛される支店を目指していますので、やはり自分自身こうした活動に参加していくことも、そのひとつだと思っています。



南部支店のみんなでワイワイ参加！

支店以外の場所でCSR活動をするいい機会になりました。

吾妻 亜紀さん（南部支店）・岡本 友美さん（朝来支店）・畑平 操香さん（南部支店）

女子の営業が多くみんな元気なのが南部支店の特長なので、今回みんなでワイワイと参加しようと決めました。その結果なんと総勢13人が参加！支店ほぼ全員参加です。実際に来てみたら思ったより山が深くて最初は作業するのも怖かったけれど、やってるうちに慣れてきてどんどん楽しくなってきました。最後はみんなの顔が、すごくイキイキしていました。



初めて「紀陽の森」ボランティア活動に参加してみて40年後の森の姿を見に来るのが楽しみになりました。

久家 麻由良さん（営業統括部）・日根野谷 希さん（六十谷支店）

北野 由貴さん（岸和田支店）・高井 恵さん（岸和田支店）

今回、全員が初参加でした。実際に参加した感想はとにかくハード！でもいい汗をかけたし本当に楽しかったです。ふだん支店でも地域に密着した活動はたくさんしているのですが、これを機にもっともっと積極的に取り組んでいきたいですね。40年後、ここがどんな森になっているのか、実際にこの目で確かめに来たいなと思いました。

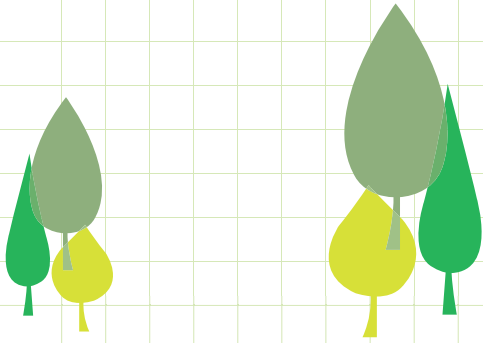


マラソン仲間が集まって

片岡 進さん（業務監査部）・山下 慎昭さん（株式会社紀陽カード）

大森 勉さん（東貝塚支店）

もともとマラソン仲間としてふだんからよく集まっているグループです。会社のためとかCSRのためとかではなく、ひとりの人間として自分たちの問題としてとらえることや、ふだんの生活における小さな活動の積み重ねこそが大事だと考えています。また銀行というのは公共性が高く、お客さまの支持がないと成立しない業態ですから、こういう活動を広く発信していくことも大事ですね。



地域の未来やそこに住む人々の暮らしを豊かにすることは、地域の金融機関として課せられた大きな役割のひとつです。そしてそれはなにも経済や金融に関することだけではありません。和歌山の財産である森林を守り、未来の子どもたちに残すこともまた、私たち紀陽フィナンシャルグループの努めであるとの思いから「紀陽の森」というプロジェクトがはじまりました。地域に根付く企業として、みなさんと一緒にできることをひとつずつ、これからも続けていきたいと考えています。こうした地道な活動がやがて芽を出し、大きな花を咲かせ、緑深い森へと育つ日が来ることを、私たちは信じています。



●紀陽の森概要

【場所】和歌山県日高郡日高川町愛川

【面積】1.32ha

【植樹された木の種類】

ヤマザクラ

コナラ

ミズメ

ヤマモミジ

など広葉樹およそ3,300本



ヤマザクラ



企業の森事業とは



「木の国」とも呼ばれ、「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産にも登録されている和歌山県が実施している森林保全事業のこと。森林は大気や水質の浄化をはじめ、温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するなど、地域の生活はもちろん地球環境にとってもかけがえのないものです。しかし近年、様々な理由で管理が不十分な森林が増えてきています。そこで、県内にある企業や労働組合などの方々にCSRや環境保全活動、また地域との交流活動の一環として、森林整備をはじめ、様々なかたちで県内の森林環境保全活動への参画を促す事業です。紀陽フィナンシャルグループのほかにも数多くの企業がその趣旨に賛同し、県内における森林環境保全の取り組みを行っています。

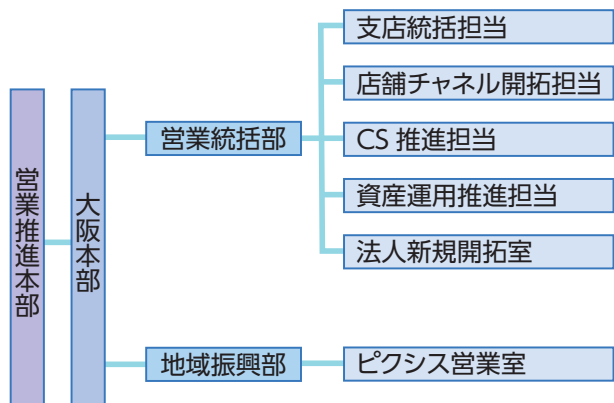


参画時に付与されたCO₂吸収量
認証プレート



お客さまとの つながりを深める 取り組み

●大阪本部組織図



大阪府堺市に本部機能を移転し、
府内営業店との連携強化を図ります。

大阪府南部での営業力強化は第三次中期経営計画でも主要戦略として掲げられており、その取り組みの一環として平成24年7月2日付で本部機能を堺市の紀陽堺ビルに設置いたします。

サービス態勢のさらなる拡充

大阪本部



堺市市之町東 1-1-10 紀陽堺ビル 4F

ました。具体的には営業推進本部長をはじめ役員約50名の体制を敷き、大阪本部と大阪府内営業店との連携を通じたお客さまとのコミュニケーション強化や、サービス態勢の充実による営業基盤のさらなる強化を図っていきます。

一方で和歌山県内においてこれまで以上にトップ地銀としての責任を果たし、和歌山県・大阪府南部の両地域において「お客さまから選ばれ続ける銀行」となるよう努めていきます。

私たちは対話とコミュニケーションを重視します。

お客さまとの約束

VOICE 担当者の声



大阪本部地域振興部
ピクシス営業室
横谷 紀美子

大阪のお客さまのより身近な銀行を目指して

私の所属するピクシス営業室は取引先の経営課題解決（事業承継、M&A、海外進出、人事労務、医療介護など）に取り組む部署です。

大阪本部新設に伴い私たちも和歌山から紀陽堺ビルに移転しました。同時にメンバーも増え、地区を持って活動する担当者は、和歌山2名→4名、大阪3名→4名とどちらも強化されました。

大阪南部エリアには和歌山出身の経営者も多く、両県に渡る取引が盛んで県境はあるものの経済のつよい繋がりを感じています。お客さまの窓口となる営業店と私たち本部担当者がうまく連携し、この地域の地元メイン銀行と認められるようがんばります。

専門スタッフによるサポート

専門知識をもったスタッフによる
様々な相談窓口を開設しています。

個人向けの金融相談窓口として「紀陽お城の前の相談室」を設置。投資信託や保険をはじめ、年金、相続にいたるまで様々なライフプランのご相談を承っています。また、外部の専門家を講師に、身近な暮らしに役立つセミナーも開催しています。

さらに、海外での事業展開をお考えの事業者さま向けには「グローバル・サポート・デスク」を設置。外部の専門家と連携し上海での商談会開催や販売ルート・企業の紹介、海外進出時の手続き支援など企業の海外ビジネス活動における様々なニーズに応えています。

紀陽 お城の前の相談室



●営業時間 平日 11:00～19:00
土日 11:00～17:00



グローバル・サポート・デスク



利便性の向上

サービスステーション(店舗外
ATMコーナー)を拡充し利
便性向上に努めています。

紀陽銀行をご利用のお客さまの利便性を向上し、より多くのお客さまにご利用いただくために、平成23年度はサービスステーションを13カ店新設。そのうち大阪市内では「高島屋大阪店」と「天王寺ミオ」に設置しました。これは、南海本線・高野線、JR阪和線の沿線に紀陽銀行のお客さまが多く、その中でも特に各路線の起点である南海難波駅、JR天王寺駅での利便性を高める目的で設置しました。

さらに「せっかく新しいATMが近くにできたのに知らなかった」というお客さまの声があることから、平成23年度からはサービスステーション新設の際には、駅看板や駅および紀陽銀行の近隣支店にポスターを設置するなど、告知活動にも力を入れました。

これからも、ひとりでも多くのお客さまに「そこに欲しかった」と思っていたき、地域の皆さまに利用しやすい銀行であり続けるために、サービスステーションの拡充を進めていきたいと考えています。



CS向上に向けた取り組み

期待通りを、期待以上に。CSとはお客さまの期待するサービスを提供し、さらにそれ以上に満足いただくことで、「顧客からファンへ」とつながっていくための取り組みです。現場の行員だけではなく役職員含めたすべての職員が一緒になって取り組み、「お客さま目線」でのサービスを提供する。それが「お客さまに選ばれ続ける銀行」としての使命だと考えています。

CS向上チェックシートの配布

全店二斉点検を実施し作業環境の改善や素早い対策に役立てています。

CS向上に向けた取り組みがしっかりとなされているか、個々の取り組みは機能しているか、部署や支店ごとの課題に違いはないかなど活動内容をチェックする「CS向上チェックシート」を配布。全部署・全支店などで一斉点検を行い、逐一改善策を導入・実行しています。

CS意識を浸透させるポスターの掲示

取り組みの見える化を進めCS向上への意識を保ち続けるよう日々、努めています。

全店共通のCS向上宣言である「統一宣言」と各店ごとに独自で取り組む「私たちの宣言」をそれぞれ制定。ポスターやワッペンとして掲示することで、



取り組みの「見える化」を図り、CS向上への意志をお客さまにしっかりと伝えていくことを目指しています。

各店にひとりCSリーダーを配置

CS向上にあたっての目標設定や改善策の推進など活動のけん引役を務めます。

お客さまの声を聞き、すばやくその意見を取り入れたり問題点を改善したりするために各営業店にひとりずつ「CSリーダー」を配置。CS向上への取り組みや活動のまとめ役でありけん引役としてその任にあたっています。

VOICE 担当者の声



本店営業部
CSリーダー
山下 智子

リーダー間のコミュニケーションを図り行員ひとりひとりに取り組みが浸透するよういつも心がけています。

本店はやはり規模も大きく人数も多いので、各課のリーダー7名とCSリーダーとでCSミーティングを毎月初めに行い、前月の反省や今月の展望、目標などを話合っています。また当初決めたことも時間が経つとどうしても最初の意識が薄れてしまうので、毎週簡単なミーティングを行います。具体的には「元気な挨拶」「きれいなおじぎ」「プラスひとこと」という3本柱に取り組んでいます。時々お客さまから「あの挨拶いいね!」とほめていただくとやはりうれしいですし、よしもっと頑張っていこうと励みにもなりますね。今後は決めたことだからやるのではなく、「おもてなしの心で」を、みんながあたりまえのように持てるよう、頑張っていきたいです。

バリアフリー化への取り組み

誰もが使いやすい銀行を目指して、紀陽銀行ではバリアフリー化を推進しています。

車いす利用者用駐車場の設置



点字つき案内サインの設置



カウンターでの杖ホルダーの設置



視覚に障がいのある方も使いやすい受話器型音声装置のついたATMの設置★



段差解消スロープと点字ブロックの設置



車いすでも使いやすいお客さま用トイレの設置 (田辺支店のみ)



車いす対応記帳台の設置



店頭で車いすを配置



耳マーク掲示、コミュニケーションボードの設置★



「認知症サポーター養成講座」など行員の知識の向上★



★は全店舗において実施

私たちは地域に密着し、よりよい地域の明日を目指します。

地域社会との約束

地域密着型 金融推進のための 取り組み

学生向け企業説明会の 開催

地域の大学や高等専門学校に
向けた地元企業の合同説明会
を開催しています。

地元企業にとつての経営課題である人材確保と、厳しい就職状況における地域の学生の就職機会創出を目指し、大学や高等専門学校に向けた合同企業説明会を多数開催しています。また中途採用支援なども積極的に行っています。



和歌山大学での
合同企業説明会



近畿大学での合同企業説明会

〈平成23年度に開催されたおもな企業説明会〉

- 和歌山大学合同企業説明会の開催
- 大阪府立大学高専合同企業説明会の開催
- 近畿大学生物理工学部合同企業説明会の開催
- 和歌山工業高専合同企業説明会の開催

文化・教育の 取り組み

学生向け金融教育の実施

和歌山県の「産業人材育成支援事業」の一環として金融実践講座を実施しています。

和歌山県が実施している「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山工業高等専門学校では「企業実践講座」を開講。紀陽銀行の職員が、簿記・財務諸表やCSRといった、ふだん高校生がふれることのない分野に関する講義を行いました。



また、和歌山大学でも「和歌山企業トップ経営

営論」を開講しており、紀陽銀行の役員が講義を行っています。

地元中学生の職場見学 を開催

地元の中学生を対象にした
職場見学を開催しました。

平成23年12月8日、地元・向陽中学の生徒を対象にした職場見学を開催。男女あわせて8名の生徒が本店ロビーやお客さま向けの貸金庫などを見学しました。

その後は会議室に移動し、紀陽銀行に関する説明や質問を受け付けるなど紀陽銀行の業務について理解を深める時間も設けられました。生徒たちはあらかじめ質問を考えてきていた様子で熱心に話に聞き入っていました。



インターンシップの受け入れ

地域の学生に対する就業体験の提供と職業意識の醸成を目的に実施しています。

産学連携による人材育成や地域貢献活動の一環として、今年もインターンシップを実施。今年度は10大学27名が参加しました。4日間の日程で行われ、社会人としての基本的なマナーや銀行の業務に関する講義を受けた後、各営業店に分かれての実習にもチャレンジ。また最終日には実習報告を兼ねた意見交換会や、紀陽のことをもっと知ってもらうためのクイズなど、和気あいあいとした雰囲気の中に終了しました。



地域の子どもたちとの交流

街を歩きながら地域クイズを解く「謎解きツアー2011」を実施しました。

地域の未来を担う小学生に、地元への愛着や街の歴史を理解してもらうことを目的に「ぶらくり丁謎解きツアー2011」を開催。地図を片手にぶらくり丁商店街を巡り、商店街各所に設置されたクイズをさがして答えていくイベントには総勢96名の小学生（付添いの父兄を含む）が参加しました。紀陽銀行からは女子バスケットボールチームと本店前レリーフに関するクイズを出題しました。



紀陽女子バスケットチームによる小中学生向けクリニックを開催しました。

2015年「紀の国わかやま国体」の開催に向け、和歌山県内でのバスケットボールのさらなる普及を目的に、昨年創部した紀陽銀行女子バスケットボールチーム「紀陽ハートビーツ」は、地元の小中学生を対象にした子どもクリニックを開催しています。平成23年度は、のべ5回のクリニックに106名の小学生と190名の中学生が参加するなど、スポーツを通じて地域の子どもたちと親交を深めています。



コンサートの開催

恒例となった「紀陽コンサート」をはじめ、芸術教育や文化振興のための活動に取り組んでいます。

財団法人紀陽文化財団では、芸術や文化を通じて、豊かな地域社会をもにつくるためのお手伝いをしています。その一環として「紀陽コンサート」を毎年開催しています。

一流の演奏家や楽団が奏でるクラシック音楽を、地域の皆さまが気軽に楽しめる機会を設け、和歌山の芸術教育や文化振興に貢献しています。



環境保全のための取り組み

省エネや節電などの取り組み

太陽光パネルの導入や節電対策を推進し、地球環境への配慮に努めています。



田辺支店の屋上には太陽光パネルを設置。年間1万3376kWh(平成23年の発電を行っています。そのほか、クールビズ・ウオーミングビズの実施やエレベーターの一部休止、冷暖房温度の設定など、様々な節電対策を行い、節電前と比べおよそ10〜20%もの節電実績をあげることができました。今後、安定した電力供給のため、節電に協力してまいります。

その他の取り組み

災害への対応と備え

台風12号の被災者への対応をはじめ新たな災害への対策にも取り組んでいます。

平成23年に和歌山を襲った台風12号。被災された方への対応として紀陽銀行ではボランティア活動の実施や義援金の寄贈、募金箱の設置や災害復旧支援特別融資など、様々なかたちで復興支援を行ってきました。

また、台風12号により一部地域で停電となった経験をふまえ、平成24年に非常用電源車を導入。突発的な停電時にも金融サービスをご利用いただける態勢の整備にも努めています。



非常用電源車



被災地でのボランティア活動

わが街 わが店 わが取り組み

企業全体で取り組む大きな活動もちろん大切ですが、
街ごとの特性やお客さまのニーズにあわせた各支店の取り組みも、
地域のお客さまと密接に関わる地方銀行としてはとても重要です。
ここでは、お客さまとの関わりに創意工夫をしている支店の活動をご紹介します。



支店活動 レポート

南部支店

「銀行の人」ではなく、地域の一員として
お客さまと思いを共有できる活動を大切にしています。

みなべ町で年に2回春と秋に開催されているフリーマーケットに、南部支店の行員が両替係として運営のお手伝いをしています。ほかの行員も来場者として、イベントを楽しみ盛り上げました。普段のスーツや制服姿と違う雰囲気の中、お客さまとの親密なコミュニケーションを図る機会となりました。

また、みなべ町主催で障がい者のスポーツ振興と交流を図る目的で行われている「みなべ はあとはあとグランドゴルフ大会」にもスコアラーやゲーム進行補助員としてボランティア参加しています。幅広い年代の参加者や運営している地域の方々と交流する良い機会となっています。

日々の活動では、週に2回の店舗周辺の清掃実施の際に挨拶を交わしたり、梅の町・みなべらしく、お客さまから頂いた梅ジュースの瓶を店頭飾るなど、地域の方々と交流を大事にしています。



南部支店
中村 早希

自分たちで考え、行動に移す。地域の暮らしをより良い
ものにするための活動をこれからも続けていきます。

五条支店



地域の皆さまの趣味の作品を店内のロビーに掲示する「ロビー展」という取り組みを、もう20年以上も続けています。例えば、書道教室の作品展示では先生の作品に大きな反響があっただけでなく、教室の生徒さんと保護者の方が来店されて展示を写真に収めていかれるなど楽しんでいただきました。

そして、平成23年の台風12号の後には、被害にあわれた方々の仮設住宅が支店の近くに建設されたことから、冬にはカレンダーやぼち袋、

夏にはうちわやタオルといった日用品などを持って訪問させていただきました。それらはお取引と

は関係なく、地域に根付く支店として、復旧に向かう人々へのサポートをしたい、何か出来ないかという行員の声から生まれた活動でした。

また例年行ってきた吉野川まつりのボランティア募集がなかったため、急きょ別の活動をとということで意見を募り、店舗周辺の清掃をすることにしました。今後も、行員皆で考えた活動を行っていきます。



五条支店
辻井 佑希

地域の特性を生かした、
各営業店ごとの取り組みを紹介します。

わが街わが店のCSR活動

地域の イベントへの参加

お祭りや地域活性化
イベントでのお手伝い、
参加を通じて地域の方々と
交流を深めています。



1.和歌浦支店(和歌祭) 2.粉河支店(紀陽銀行白水園コンサート) 3.高野山支店(ろうそく祭) 4.金屋支店(金屋おしゃるき祭り) 5.由良支店(由良ふるさとフェスティバル) 6.朝来支店(紀州口熊野マラソン給水ボランティア) 7.白浜支店(砂まつり大会) 8.日置支店(日置川鮎祭り) 9.周参見支店(イノブータン王国建国27周年祭) 10.串本支店(にしき園夏祭り) 11.古座支店(「湯ごりの郷」納涼盆踊り大会) 12.勝浦支店(南紀勝浦「夏祭り」総踊り) 13.新宮支店(納涼会) 14.東大阪支店(瓢箪山商店街七夕夜市) 15.羽倉崎支店・鶴原支店・日根野支店(りんくう花火大会ボランティア) 16.紀州おどり

店舗を 使った活動

地域の皆さまの作品展示や、
季節の飾りつけで楽しい
お店づくりをしています。



1.西浜出張所 2.紀三井寺支店
3.内原出張所 4.海南支店 5.
太地支店 6.尾崎支店 7.五条
支店

清掃活動

地域の環境美化・
環境保全を目指した
取り組みを
実施しています。



1.水道路支店・宮北支店 2.屋形支店 3.岩出支店・紀泉台出張所・桃山出張所 4.湊支店 5.松ヶ丘支店 6.紀の川支店 7.貴志川支店 8.高野口支店 9.橋本支店
10.野上支店 11.箕島支店 12.田辺支店・田辺駅前支店 13.吉備支店 14.南部支店 15.岬支店・箱作支店 16.泉南支店 17.東貝塚支店・水間支店 18.岸和田支店・
東岸和田支店 19.狭山支店 20.泉ヶ丘支店・北野田支店 21.鴻池新田支店 22.平野支店

その他

営業店でできる様々な
お手伝いや地域貢献活動を
進めています。



1.太田出張所(自転車等放置防止対策) 2.県庁支店(献血)
3.八尾南支店(献血) 4.大阪北支店(献血) 5.大阪支店(献血)
6.高田支店(献血)



正確で適切な
情報を提供する
取り組み



IRカレンダー

5月	決算発表
6月	機関投資家向け決算説明会(東京) 定時株主総会 ミニ・ディスクロージャー誌発行 期末配当金支払い
7月	ディスクロージャー誌発行 地元株主向け決算説明会(和歌山、田辺、堺) 個人投資家向け決算説明会(和歌山)
8月	第1四半期決算発表 個人投資家向け決算説明会(堺)
11月	Annual Report発行 第2四半期決算発表
12月	ミニ・ディスクロージャー誌発行 機関投資家向け第2四半期決算説明会(東京)
1月	中間ディスクロージャー誌発行
2月	第3四半期決算発表

情報開示の充実

ディスクロージャー誌や説明会を通じて
情報共有のための取り組みを行っています。

法定ディスクロージャー誌の配布や
定時株主総会の開催はもちろんのこと、
機関投資家向け／地元株主向け／
個人投資家向けの決算説明会を実施。
株主・投資家の皆さまに定期的な
情報公開を図り、情報を共有するた
めの取り組みを行っています。

私たちは責任ある企業態勢づくりに努めます。
株主さまとの約束



コンプライアンス態勢 について

コンプライアンスを重視した
健全経営と高い倫理観に基
づく企業活動に努めています。

コンプライアンスプログラムを制定
し態勢強化を図ると同時に、研修やモ
ニタリングなどを通じ、各人の意識を
高める取り組みも日々行っています。
また、弁護士などの専門知識を有す
る社外の第三者による専門委員会を

設置。客観的提言を取り入れ、実効
性・透明性の高い組織づくりをしてい
ます。さらにはプライバシーポリシー
を定め、利用目的の公表など、個人情
報の取扱いにも十分な配慮をしてい
ます。

安定的な配当の実現

経営の健全性の確保を図り
つつ、安定的な配当を実現し
ています。

利益配分については、銀行持株会社
の公共性に鑑み、経営の健全性を確保
するための適正な内部留保を確保し
つつ、安定的な配当を実現することを
基本方針とし、安定的な配当を実施
してきました。

また、平成24年9月には、公的資金
315億円のうち154億円を返済
いたしました。今後は、第3次中期経
営計画で安定した利益の蓄積を果た
し、残りの返済に向けて努力してい
きます。



休日セミナー（例）

セミナー名	テーマ・目的
決算書入門セミナー	決算書に関する基本事項の理解
決算書分析実践セミナー	財務分析手法の習得
投資信託販売のためのコミュニケーションスキル向上セミナー	提案へのプロセスおよびニーズ喚起マーケットの見方など
2級FP技能検定試験対策科目別セミナー	同検定試験対策（科目別）
2級FP技能検定試験直前対策セミナー	同検定試験対策（直前対策）
カリスマ美容師から学ぶ人材育成セミナー	人間力向上とリーダーシップ意識の構築
ハーバード流ビジネス交渉術セミナー	交渉力・折衝力の向上
日経新聞の読みこなし方セミナー	日経新聞の活用方法・情報の捉え方

従業員の 働きがいを支える 取り組み



従業員との約束

私たちは社員が働きやすい環境をつくりまします。

人材育成制度の充実

多種多様な休日セミナーを開催し、キャリアアップをサポートしています。

「決算書入門」といったベーシックなスキルから「投資信託販売のためのコミュニケーションスキル向上」など販売に直結するもの、さらにはファイナン

シャルプランナーといった各種公的資格取得を支援するものまで、多岐にわたる講座・セミナーを実施。休日を活用してキャリアアップを目指す高い意識を持つ行員へのサポートを行っています。

社内環境の整備

休暇制度やキャリアサポート制度を充実させ、従業員が働きやすい環境整備に努めています。

産休制度や育児休暇制度など女性の従業員に配慮した休暇制度はもちろん男性の育児参加を促し、仕事と家庭の両面で支援するための「配偶者出産休暇制度」やワークライフバランスを考慮した「半日休暇制度」も導入しています。

また、女性の営業・企画部門等への起用、管理職登用を促すため、キャリア研修の実施やコース転換制度の利

VOICE セミナー参加者の声



大阪本部営業統括部
法人新規開拓室
鈴木 宏弥

キャリアアップのために休日セミナーを利用しています

当行では、定期的に休日セミナーが開催されており、私もキャリアアップのため積極的に参加するよう心掛けています。キャリアアップの手段としては読書や通信講座等の方法も有効ですが、休日セミナーでは外部講師の指導のもとグループワーク、ロールプレイング等も行われ、より実践に沿った学習ができます。また休日セミナーでは様々な業種の方からの講座を受講することができ、総合力が問われる金融機関として幅広い知識を学べる有効な機会であると考えています。

用促進等、「ポジティブアクション」に沿った取り組みも実施しています。



株式会社 紀陽ホールディングス

和歌山市本町1丁目35番地
<http://www.kyfg.com/>

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地
<http://www.kiyobank.co.jp/>



このレポートには、地球環境に配慮した古紙含有率 70%の再生紙と、
大気汚染を抑制するノン VOC ベジタブルインクを使用しております。

※ VOC…揮発性有機化合物 (Volatile Organic Compounds) の総称。
2006 年 4 月 1 日より、大気汚染防止法での VOC を含む有機化合物の
排出規制が始まっています。

平成24年10月発行

株式会社 紀陽ホールディングス

グループ企画部 広報・CSR推進グループ

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地 TEL.073-426-5111